



様式第2号（第6条関係）

24年6月29日

まちづくり実践提案書

柴田町長 殿

（提案者） 氏名 上川名地区活性化推進組合長

平間 栄 雄

住所

電話番号

次のとおり提案します。

1	提案の名称	地域史編纂「写真で見る上川名の移り変わり」の発刊
2	現状・課題	<p>町史編纂が終了し、地域史が注目を浴びている。上川名地区には、貝塚、館跡の遺跡があり、孫授けの風習、お念仏講をはじめ各種講が受け継がれてきた農村集落の風情を色濃く残す地区である。しかし、これら個々の風習は諸先輩からの口承によるもので、これらの風習をまとめたものが無い。</p> <p>口承は、特定の人に受け継がれる場合が多く、不明瞭だったり、ややもすれば、途絶えてしまう可能性が強い。</p>
3	目 標	上川名地区に暮らす人が地区の歴史や風習について共有し、若者や子どもたち、子孫まで継承するために、子どもからお年寄りまでが一緒に取り組み、地域の歴史を掘り起こし、調査研究誌を発刊する。
4	実践提案の内容 (具体的な事業内容)	<p>◇内容</p> <p>上川名地区の全ての人に関わってもらい、地域史編纂を行う。今年度は、その第一弾として、冊子「写真で見る上川名の移り変わり」を発刊する。歴史の探求よりは民俗学（地元学）を主体に、聞き取りなどを通して地域の数多くの人達が参加できる機会を増やす。</p>

(具体的内容)

- ①上川名地区の各家に保管されている昔の写真の収集、複写。
テーマとしては、「生活と暮らし」「家並みや風景」「農業と農作業」「昔と現在の風景」「2012年の上川名」。
- ②地形や戸数の移り変わり、農産物栽培や衣食住の移り変わり、契約講・古峯講・庚申講・鹿島講・念仏講・山神講（一升餅）・観音講・孫授け等の由来や活動状況、神社・お寺の歴史などの調査研究。
- ③収集した写真、調査研究した内容を編集し、冊子「写真で見る上川名の移り変わり」を発刊。作成した冊子は、区民、上川名出身者をはじめ、地区外の人達にも配布する。

◇効果

「写真で見る上川名の移り変わり」を発行することにより、これまで口承を中心に伝えられてきた地区の歴史や風習等について、画像で分かりやすく伝え、残していくことができる。

また、地域の人達が写真を持ちよるなど一緒に取り組み関わりを持つことで、世代間交流や地域への愛着を育むことができる。さらに、上川名地区に伝えられている風習や講は、他の地区にも類似するものがあり、今回の取り組みをきっかけに、地域間交流の促進へ期待ができる。また、町外からの来訪者に対しては、柴田町の農村集落の歴史を紹介する資料となる。

◇予算計画

- ・冊子「写真で見る上川名の移り変わり」の印刷製本費
A4版 カラー 80ページ 300部 500,000円

◇実施スケジュール

- ・H24.4月～10月 写真収集、聞き取り調査、編集作業
- ・11月 冊子完成

5	協働により取り 組む意義	<p>地域住民が主体的に地域の将来を模索し、地域の活性化に結び付けようとする活動は、現在、町が進めている地域計画策定の趣旨に合致するものであり、多くの地域住民の参加が必要とされるこの実践提案は、柴田町の参加と協働によるまちづくりの必要性を参加者一人ひとりが実感できるものとする。</p> <p>今回の提案は、上川名地区の過去、現在そして未来をつなぐものであり、子どもからお年寄りまでが一緒に地域史編纂に取り組むことにより、より一層地域づくりへの関心が高まる。</p> <p>また、郷土史の編纂により、地区の歴史、伝統を次代に引き継いでいくとともに、地区外との交流を進める上でも地区を紹介する分かり易い資料として活用していくことができる。</p>
6	協働の役割分担	<p>《提案者が果たしたい役割》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化推進組合の郷土史部会が中心になり、子どもからお年寄りまでが参加して、写真の収集、写真のデータ化、聞き取り調査、冊子の編集を行う。冊子は地区に全戸配布。地区出身者や地区外の方にも頒布する。 ・上川名の事例が他地区にも広がるような実践活動を行う。 <p>《町に期待する役割》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究にあたっての助言、指導及び資料等の提供。 ・冊子「写真で見る上川名の移り変わり」の印刷製本費の助成。